

科目名	東アジア政治論特殊研究	担当者	ゴン 孔 ウイシク 義植	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	グローバリゼーションという視点から日中韓関係の問題点や課題を分析して今後の行方を展望してみる。		
到達目標	グローバリゼーションとリージョナリゼーションの諸局面を理解する。 東アジア統合における日本，中国，韓国の立場や戦略などを理解する。 グローバリゼーションという観点から日中韓関係を分析して今後を展望する。		
学修方法	グローバリゼーションと東アジア統合に関する諸理論や学説を批判的に検討した上，東アジア国際政治における現状を事例別に分析して自分なりの考えや論理をまとめていく。		
スケジュール	6月半ばまでに基本教材1の1次レポート提出 8月半ばまでに基本教材1の2次レポート提出 10月半ばまでに基本教材2の1次レポート提出 12月半ばまでに基本教材2の2次レポート提出		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	レポートの構成と内容，参考文献数などを重視する。
	平常評価	%	
履修者への要望			

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 浦田秀次郎，金ゼンマ編 教材名： 『グローバリゼーションとアジア地域統合』（勁草書房，2012年） ISBN:978-4-32-654626-8 3,800円+税
	グローバリゼーションとアジア統合を国際関係，経済，社会，安全保障といった異なる視点から分析して，グローバリゼーションはアジア地域統合を促しているのか，それとも阻害しているのかを解明している。
参考図書	愛知大学国際問題研究所編『21世紀における北東アジアの国際関係』（東方書店，2006年） ISBN:978-4-49-720603-9 3,600円+税 羽場 久美子『グローバル時代のアジア地域統合』（岩波ブックレット，2013年） ISBN:978-4-00-270828-7 500円+税
履修上のポイント	常に北東アジア（主に日中韓）関係の歴史と現状を念頭に入れながら教材と参考図書を読み通すこと。
レポート課題 1	北東アジアにおいてグローバリゼーションの進展とともに顕在化しているグローバル・イシューについて論じなさい。 留意点： 環境や社会問題などを含めて論じること。
レポート課題 2	東アジアにおける多国間安全保障枠組みの必要性に関する議論が起きた原因をグローバリゼーションと関連して論じなさい。 留意点： 主に日本，中国，韓国を中心に論じること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 梅森 直之，三牧 聖子，平川 幸子編 教材名： 『歴史の中のアジア地域統合』（勁草書房，2012年） ISBN:978-4-32-654627-5 3,800円+税
	20世紀に入り，アジアが分裂しているように見える時代にも，連帯を模索する動きがあった史実に光を当てて，そのような時代に「アジア」という思想が芽生えていた歴史を明らかにする。
参考図書	松岡 俊二，勝間田 弘編『アジア地域統合の展開』（勁草書房，2012年） ISBN:978-4-32-654625-1 3,800円+税 青地 正史，小柳津 英知，星野 富一，森川 裕二編『アジア地域統合の探究』（法律文化社，2012年）ISBN:978-4-58-903389-5 3,000円+税
履修上のポイント	常に北東アジア（主に日中韓）関係の歴史と現状を念頭に入れながら教材と参考図書を読み通すこと。
レポート課題 1	新機能主義という観点から東アジア共同体構想の可能性について論じなさい。 留意点： 主に日中韓関係を中心として論じること。
レポート課題 2	北東アジアにおける地域統合を妨げている要因を歴史的な観点から論じなさい。 留意点： 主に日中韓関係を中心として論じること。